



平成 28 年 5 月 6 日

各 位

会社名 株式会社 魚 力
 代表者名 代表取締役社長 中田雅明
 (コード番号 7596 東証第一部)
 問合せ先 経営企画室長 尾後貫隆
 (TEL. 042 - 525 - 5600)

中期経営計画 “「魚力ブランド」クリエイションプラン 2018”策定に関するお知らせ

当社はこの度、平成 26 年 5 月 8 日に発表した 3 カ年の中期経営計画を見直し、2016 年度を初年度とする新たな中期経営計画 “「魚力ブランド」クリエイションプラン 2018” を策定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画見直しの主旨

当社は、「安心・安全・満足」を経営理念に掲げ、創業以来「鮮魚専門店」として多くの方々にご満足いただけるよう、誠実な商売を貫いてまいりました。また、2015 年 3 月には東京証券取引所市場第一部に指定され、今まで以上に社会的責任 (CSR) を果たすことを要請されております。このような状況の中、当社は中期経営計画 “「新生魚力」クリエイションプラン 2016” に基づき業績の向上に努めてまいりました。

国際経済は、中国経済の減速や為替レートの不安定化、急激な原油安など、世界経済の先行き不透明感はますます深まっております。また、わが国の経済は緩やかな回復基調にあったものの、実質賃金のマイナスや消費増税などの懸念により個人消費は力強さを欠くとともに、魚離れが進んでいる一方、海外では魚食が広がり世界的規模の需要増加によって仕入価格が上昇するなど、当社の経営環境は厳しさを増しております。

そこで、“「新生魚力」クリエイションプラン 2016” の 2016 年度計画を精査したところ、当初計画との乖離が予測されましたので、この度、2016 年度を初年度とする新たな 3 カ年計画を策定し、企業の持続的な成長と当社のステークホルダー (お客様・従業員・株主様・社会) に対しての責任を果たすため「魚力ブランド」を確立する指針とするものであります。

2. 中期経営計画の目標 (2018 年度)

- ・連結売上高 330 億円への挑戦
- ・店舗数 140 店舗の実現

3. 利益計画の概要

(単位 百万円、%)

科目	2016年度			2017年度			2018年度		
	計画	売上比	前年比	計画	売上比	前年比	計画	売上比	前年比
売上高	28,200	100.0	93.2	30,500	100.0	108.2	33,000	100.0	108.2
営業利益	1,320	4.7	96.8	1,450	4.8	109.8	1,650	5.0	113.8
経常利益	1,500	5.3	101.3	1,600	5.2	106.7	1,800	5.5	112.5
当期純利益	1,050	3.7	101.0	1,100	3.6	104.8	1,250	3.8	113.6
1株当り当期純利益	75.1 (円)			78.6 (円)			89.4 (円)		
期末店舗数	81 店舗			104 店舗			141 店舗		

4. 基本戦略

- (1) 商品戦略 「時代の変化や顧客ニーズに対応した商品開発」
- (2) 営業戦略 「お客様に感動を与える売場づくり」
- (3) 出店戦略 「寿司テイクアウト専門店の出店加速と飲食店舗の出店強化」
- (4) 人事戦略 「社員のやりがい、働きがいの醸成」
- (5) 海外戦略 「新たな成長戦略への取り組み」
- (6) 財務戦略 「株主重視の還元施策」

※本資料は当社グループの計画、経営判断、業績予想などが含まれておりますが、これらは現時点での予測であり、実際の業績は様々なリスクや、不確定要素に左右され、本資料において確約するものではありません。従いまして、実際は国の諸施策、市場動向などの変動により大きく異なることになり得ることをあらかじめご承知おきください。

以 上